

令和4年度 大阪府立高槻支援学校 学校教育自己診断アンケート 集計結果とまとめ

1 アンケートの対象と集計数

- ① 対象： 保護者・教職員を対象に実施いたしました。
- ② 項目数・内容： 保護者アンケートについて22項目にて実施しました。
- ③ 提出率： 保護者 67.2%（昨年度：68.3%） 教職員 79.3%（昨年度：90%）

2 保護者の回答分析と、前年度との比較

保護者の回答を分析した結果、肯定的な回答80%以上の項目が23項目中14項目（うち90%以上が5項目）となり、本校の教育活動をおおむね肯定的にとらえていただいています。令和3年度と比べて傾向などに大きな変化はみられませんでした。90%以上の5項目は次のとおりです。

【肯定的評価が90%以上の項目】

- ・ 学校生活の様子を知ることができる。(92.4%)
- ・ 通知表はわかりやすく工夫されている。(91.1%)
- ・ 事故・災害時の緊急連絡等を迅速に発信している。(91.1%)
- ・ 個別の支援計画及び指導計画の説明とニーズ対応。(94.1%)
- ・ 個別の支援計画及び指導計画に基づいた指導。(91.9%)

今年度から学校行事や参観等で学校に来ていただく機会も少し増えましたが、近年コロナ禍における自己診断結果の傾向である「わからない」という回答がわずかに減少したものの有意差と言える大きな変化は見られませんでした。

3 保護者と教職員の回答比較

保護者と教職員の回答を比較分析した結果、教職員より保護者の肯定的評価が5ポイント以上高かった項目は5項目あり、いずれも教育の充実に向けて校内で進めてきた取り組みについての項目でした。

【肯定的評価が“保護者>教職員”となっている項目】

- ・ 教員は専門性の向上を図っている（差10.7%）
- ・ 通知表はわかりやすく工夫されている（差13.2%）
- ・ 個別の支援計画及び指導計画の説明とニーズ対応（差6.7%）
- ・ 個別の支援計画及び指導計画に基づいた指導（差6.1%）
- ・ 子どもが楽しむ・運動するための環境整備（差22.0%）

反対に、保護者に比べて教職員の肯定的評価が5ポイント以上高かった項目は次の10項目（R3年度7項目）あり、学校運営上、留意が必要であることがわかりました。中でも、「ICT活用」「交流及び共同学習」に関する2項目は保護者の「わからない」という回答が多く見られており、知っていただく取組みが必要であることがわかりました。

【肯定的評価が“保護者<教職員”となっている項目】※は、保護者の「わからない」という回答

- 子どもが学校を楽しんでいる（差 11.4 ポイント）
- 子どもにとって授業がわかりやすく楽しい（差 6.1 ポイント）
- 学校生活の様子を知ることができる（差 5.2 ポイント）
- 学校行事への参加がしやすい（差 6.3 ポイント）
- 将来に向けた生き方・進路の指導は適切である（差 10.4 ポイント）※15.5%
- 生命の大切さや社会ルールを養う態度がある（差 6.2 ポイント）※13.4%
- ICT 環境の整備に努め積極的に活用している（差 26.0 ポイント）※34.0%
- 近隣の学校と積極的に交流している（差 13.4 ポイント）※35.7%
- 通学バスがスムーズに運行されている（差 10.6 ポイント）※10.1%
- PTA 活動が活発に行われている（差 8.6 ポイント）※26.9%

4 記述による回答

- 学習指導に関すること
- 参観等に関すること
- 教員の専門性の向上に関すること
- 施設・設備に関すること